

国立天文台・天文情報センター・特別客員研究員 中桐正夫

*** 古い貴重な写真8枚 (東京天文台100周年記念誌資料2-1-10)**

東京天文台100周年記念誌資料の整理をしており、次々と資料について記事を書いている。今回は東京天文台100周年記念誌資料—その2—のダンボール箱の菓子箱に入った多数の写真の一部で、アーカイブ新聞第349号のリストでは、

1) 紙箱入り写真

10. ブローニ版ネガ8枚、旧本館など貴重な写真

と書かれたもので、古い写真をブローニ版ネガで複製したものと思われ、これらはすでにほかの形で発見され、アーカイブ新聞にも掲載されたものであるが、東京天文台100周年記念誌資料として独立に、ネガフィルムとして出てきたものなので記録にとどめデジタルデータとして保管することとする。

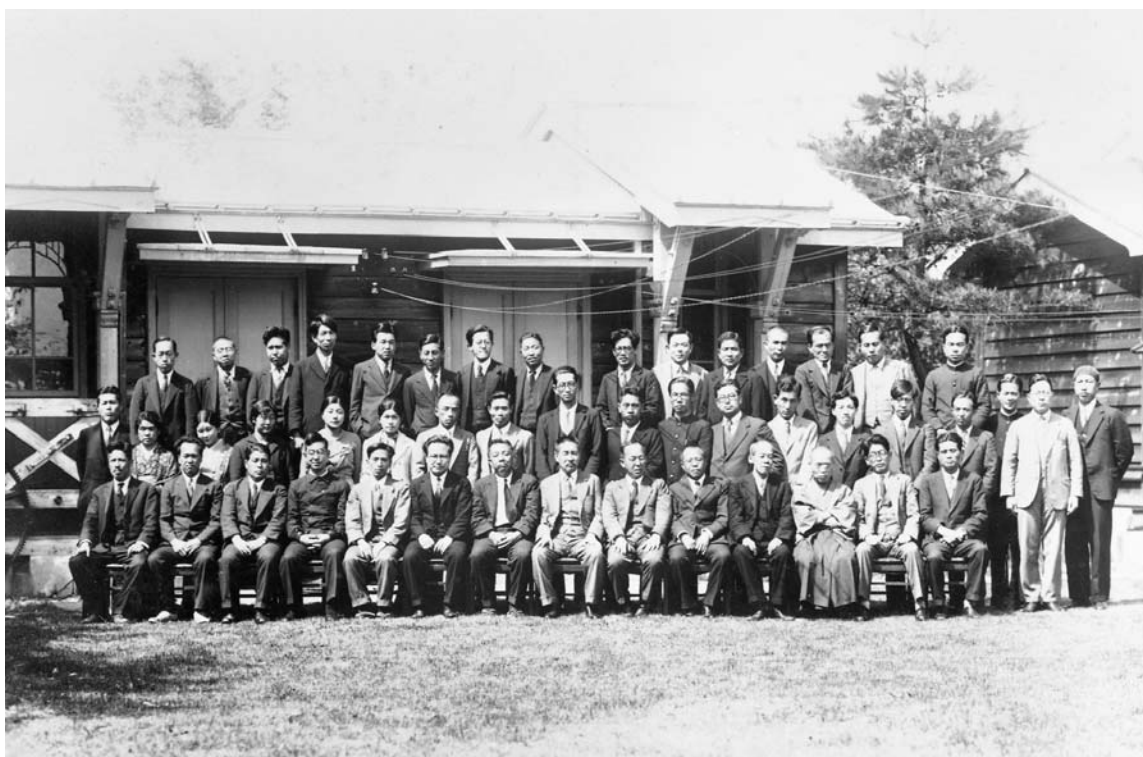


写真1 田代庄三郎氏退官記念写真

写真1は、1936年田代氏退官記念写真とあり、前列左から、二日市、加藤、鏑木、平野、奥田、水野、橋元、田代、早乙女、神田、小川、寺田、宮地、石井、中列左から、賀山、長満、村上、中川、岸村、小川、堀、壇上、竹田、山下、虎尾、窪川、井上、広瀬、藤田、服部、田代、吉田、畑中、後列左から、川崎、下保、河野、佐藤(震研)、加藤、外岡、篠原、村上、竹田、野附、村上、小野、秋山、堀、高沢、増山とある。



写真 2



写真 3

写真 2、3 もアーカイブ新聞第 873 号に掲載されたものである。写真 2 はブラッシャー天体写真儀ドームから北を見たもの、写真 3 は本館前ロータリーから南を見た写真である。



写真 4



写真 5

写真 4 は、天文台の台地を南側から撮ったもので、ブラッシャー天体写真儀ドーム、太陽塔望遠鏡ドームが見えている。昭和初期にはこのように野川沿いには水田が広がっていたことが分かる。写真 5 は正門を外から撮ったものである。

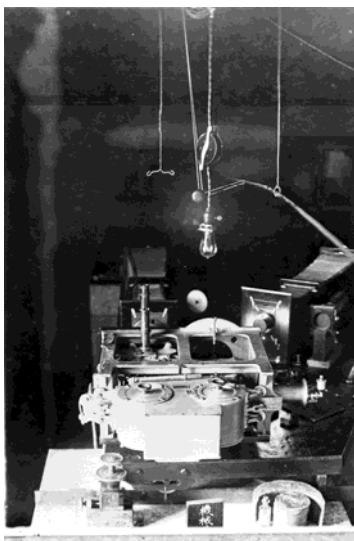


写真 6

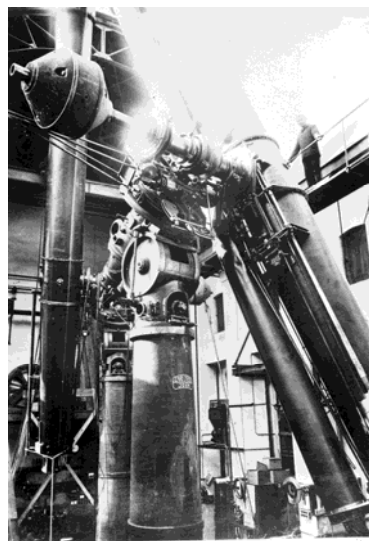


写真 7

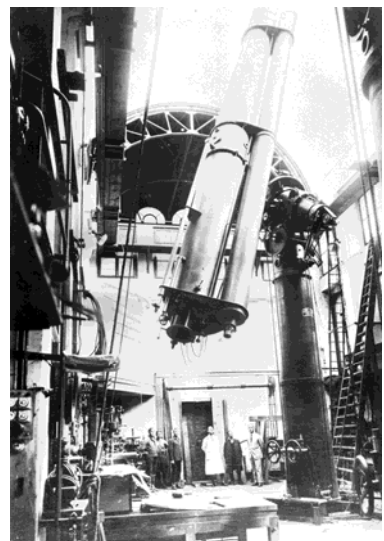


写真 8

写真6は、太陽分光写真儀室（我々古い者はオバケと呼んでいた建物）の分光器である。この分光器で太陽光のカルシウムK線で太陽像を撮っていた。写真7、8は65cm屈折望遠鏡をドイツ・ツァイス社で組立試験に東京天文台第2代台長平山信が立ち会っているところである。

この号の写真はすべて、すでにアーカイブ新聞に掲載されたことのある写真であるが、別の形で発見されたものなので再録の形になった。

これらアーカイブ新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp